

第53回 宇部市廃棄物減量等推進審議会議事録

・日時 平成28年2月24日(水) 14時から16時30分

・場所 宇部市ときわ湖水ホール ミーティングルーム

・出席委員

(会長)	関根雅彦	(副会長)	城田久岳
	笠井邦雄		渡壁正英
	三戸利満		鈴木春菜
	松重啓子		河村竜太
	中島由加利		森田律子
	井関祐子		藤本米子

・欠席委員

前原佳子	平岡幸子
稲沢満義	茂山守

・事務局

市民環境部次長	秋田浩二
廃棄物対策課長	長岡哲雄
環境保全センター施設課長	黒瀬寛文
廃棄物対策課長補佐	本多光代
環境保全センター施設課長補佐	向上正美
環境保全センター施設課長補佐	師井康文
廃棄物対策課資源循環推進係長	上田康次郎
廃棄物対策課資源循環推進係主任	平山加代子
廃棄物対策課資源循環推進係主任	内海里美
株式会社東和テクノロジー	

・資料

宇部市一般廃棄物処理基本計画(案)

・次第・議事録

- 1 市民環境部長あいさつ
- 2 委員の紹介
- 3 会長、副会長の選出
互選により、会長に関根委員、副会長に城田委員選出
- 4 会長、副会長あいさつ
- 5 議題
 - (1)宇部市一般廃棄物処理基本計画(案)について
 - (2)宇部市一般廃棄物処理基本計画(素案)に係るパブリックコメントについて

会長	本日の議題は「宇部市一般廃棄物処理基本計画（案）」と「宇部市一般廃棄物処理基本計画（素案）に係るパブリックコメント」についてです。それでは事務局から説明をお願いします。
事務局	資料「宇部市一般廃棄物処理基本計画（案）」により説明 （今までのスケジュール） <ul style="list-style-type: none"> ・第51回審議会（平成27年8月3日開催）において計画改定の趣旨、位置付け、対象地域、構成等の改定方針を説明 ・平成27年9月に市民アンケート実施（全戸配布、2,950人の回答、回収率4%） ・平成27年10月に市民ワークショップを2回開催 ・第52回審議会（平成27年11月24日開催）において素案の審議 ・平成28年2月1日～19日パブリックコメント実施…意見0件
会長	それでは質問はありますか。なければ、私の方から質問します。P32の『課題』で「①ごみの排出に関する事項」では、「事業所でのごみの減量化と適正処理が必要」と記載されていますが、この場で議論して対応できるのかどうか難しいと思いますが、重要な取組ではあるので課題として出ており、目標を達成するには何か取り組まなければいけない。また、「②資源化に関する事項」では収集量は減少しており、これは市民側の意識の減少で課題としてあるのではないかと思います。「③中間処理に関する事項」はこの場での議論の対象になるのかどうか、「④最終処分に関する事項」はもちろん処分量を減らすのは明白だが、市として何か困難な課題があるのかどうかお聞きしたいと思います。
事務局	東見初の最終処分場については、県と市が一緒になって産業廃棄物・一般廃棄物の両方が搬入できる複合型の埋立地、最終処分場として管理運営しております。予定では平成20年からスタートしまして平成35年でほぼ一杯になるという計画で受入れを進めておりますが、埋立地を新たに設ける事は非常にたくさんの課題がありまして、宇部市は海面埋立て、他の自治体では内陸、山の方での埋立てを設けたりしております。いずれにしても、簡単には設けられないので、埋立地に入のごみは減らしていきたいと思います。リサイクルされる以前は金属・ガラスくずは埋立地にどんどん入っておりました。現在はリサイクルを行い、埋立地に入る量を極力抑えております。そういった中で平成35年の予定を可能であれば延命化していきたいと思っております。
会長	今の説明のデータはどこに記載してありますか。
事務局	P25の資料を見ていただいて、現在の埋立地は一般廃棄物と産業廃棄物の併用で一般廃棄物の部分がP17記載の規模131,300 m ³ のうちの15.2%となっております。計画には予定の数量と実際の数量の比較ができるものを表記してないですが、現時点では予定より少ない量で搬入が続いているという状況です。現状の予定数量より更に少ない状態を継続していければと考えております。

<p>会長</p>	<p>課題という事であれば、それ以前のページに内容があって、その内容がこうだから課題はこうですよという事がわからなかったのでお聞きしました。</p> <p>P32「①ごみの排出に関する事項」は平成33年に向けて困難な目標を達成しようとしている、宇部市がプレッシャーをかけた目標で、このままでは達成できない重い課題になっていると思います。「②資源化に関する事項」の課題に関しては、一般的にプラスだし、これを実施することで効果もあり、一番近い課題だと思います。今お話しいただいた「④最終処分に関する事項」は一般的な目標であると思います。「③中間処理に関する事項」は検討が必要な時期というのはわかりますが、この審議会では今後どのような話が出てくる可能性がありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今後、新たなごみ処理施設「焼却場・リサイクルプラザ・リサイクルプラザに付随した圧縮梱包施設・埋立地」を更新する場合は、この審議会でご覧の方の意見を聞きながら、その時点での情勢も考慮し、今後どのような施設を建設していくかを審議していただくことになろうかと思えます。焼却場は竣工から13年を経過しておりますが、通常、焼却場は一つの考え方としまして、20年位が目安で運営しております。国の方針ではもう10年位は延命化をするべきという考え方もありまして、今現在、長寿命化をするべきか、新たに20年で建て替えるべきか内部で検討しております。今後、更新という方向に話が進みますと、どういった施設を建設すべきか委員の皆様にお諮りするようになると思えますが、更新でなく長寿命化ということになりましたら、現施設の整備内容について、当然ながら委員の皆様にお示ししまして、市の方針・計画を説明させていただければと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>この審議会は回数が少ないですし、その少ない中でポツと議題が出てきても深い議論は難しいので、深い議論をする必要がある場合は、もう少し前もって、いつ頃こういう話がでるから考えて欲しいということをお聞かせしてもらえたらと思えます。ただ、委員で考えられる事も限界があると思えますが、形だけの議論になりますので、『課題』として挙げている項目が、どれだけ関わってくるのか確認するためにお聞きしました。今、聞きましてこちらで議論しても難しいかと思えますが、どの部分を議論するのか、早い段階で会長・副会長にでも検討させていただいて、この審議会でご説明できたらと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>この審議会での発言はどの位反映されるのかお聞きしたいと思います。過去の議事録を読みましたが、委員は意見を言うが、事務局は検討するなどの回答であり、委員がどこまでの発言力があるのかわかりません。例えば、前回バイオガス発電の話がありましたが、審議会の承認を経て、報道発表するべきではないかと思えますし、委員となってどこまで反映されるのか不明です。</p> <p>また、私は平成25年に生ごみ実証事業を行った自治会です。第50回審議会でご報告はありましたが、今はバイオガス発電に話は移っております。生ごみ実証事業の件はどうなりましたか。第50回審議会では、市民にも公表すると言われていましたが、まだ報告はないと思えます。広報や啓発紙「3Rくる」に掲載してないですね。その経過もお聞きしたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ごもっともな意見と思えますので、お答えいただけたらと思えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>審議会の位置付けですが、市長から案件を審議していただきたい「諮問」という方</p>

	<p>法があります。それに対して審議会で色々な意見をいただいて市としてこう進めていただきたい「答申」という方法があります。この審議会は廃棄物の減量・リサイクルに関する審議を行うという位置付けで開催しております。</p> <p>また、バイオガスの件ですが、原料を生ごみという形で進めておりますが、発端は市の施策の1つでエネルギーという関連で進めております。検討する中で発電・熱利用のエネルギーをと考えておりましたが、いきなり大きなものを建ててもということで、小さい実証的な部分から進め、最終的には食品残渣で液肥を作り、ループという形で農業振興にも使っていこうと考えております。生ごみを減らすというのは当然目的の1つですが、エネルギー問題、今では農業振興問題まで大きく幅が広がってきております。当審議会には以前報告はさせていただきましたが、やるやらないを審議する場でないかと判断させていただいております。</p> <p>それと、第50回審議会での生ごみ実証事業の報告の件ですか。</p>
委員	<p>はい。第50回審議会の議事録で、生ごみ実証事業について「とりあえず検討されたのですか」という問いに「そういう事になります。」と回答してらっしゃいます。こういった実証事業は始める前に審議会にかけて検討してもらいたいと思います。</p> <p>また、実証事業の報告の中で「全市域で実施した場合の試算は山口大学と共同研究を実施」とありますがその報告もありますか。</p>
事務局	<p>平成25年に生ごみの実証事業を行った際には灯油の削減効果がどれだけになるか難しいということで、平成26年に山口大学に分析をお願いし、どれだけの効果があるか調査してもらいました。平成27年2月の審議会でその調査結果を報告させていただきました。</p>
委員	<p>それは生ごみ・水切りを3%削減したらいくら助燃剤が減りますよという報告で実証事業としての報告ではないと思います。</p>
会長	<p>その報告があった時に、水分を減らすことは大事でどうしたらいいのか議論しましたが、決議という形でここには残ってないです。決議をしたらやっていただけるのかあらかじめ確認して行えばいいのかもしれませんが、例えば市にこういう方法でやってくださいと言えやっていたらいいのかなのかどうかお答えいただければと思います。</p>
事務局	<p>先程申しましたとおり、諮問事項に関しては答申をいただくという形になります。一番わかり易いのは、現行のごみの指定袋の件で、平成12年から平成14年度の実施に向けて色々と審議していただき、それは諮問をかけて答申をいただくという形でした。これ以降は全市的にごみのあり方が大きく変わるような事がなかったと思います。昨今は大きな項目の中の施策に意見を聞きながら報告させていただくという形であったと思います。</p>
委員	<p>是非、審議会は有用に活用していただいて、今後委員として2年間ありますが、市の環境行政に反映されないということがないようにしていただきたい。</p> <p>また、議事録を見ましても委員と事務局の間で会長は非常に苦労されていると思います。ただ、審議会なので採決はないですが、提案された事に対して全員が反対ということであれば、場合によっては採決が必要ではないかと思えます。</p>
会長	<p>この審議会は非常に生活に密着した会なので、日頃委員が思っている意見をなるべく</p>

	<p>く取り入れて議論しています。それはそれで貴重な情報と思いますが、その時間がかかなり長くなります。その部分は市にとって不要な部分ですか。私が感じていたのは市にとっても出来る事が出尽くして、なにか新しい事を言ってもらえるのではと思って聞いているのかなと思いますし、新しいアイデアでもあれば、答申という形でなくても採用していただけるのでは感じていました。議論している時に、どう結論づけるかを意識しなかったのが今後どうしようかと思っております。</p>
事務局	<p>会長のおっしゃるとおり、出尽くしているかと言われれば事務局としてもやるべき事を事業としてはやっていると思います。しかしながらこれで終わりではないと思いますので、新しいアイデアをいただけるのであれば、非常にありがたいですし実現に向けて考えていきたいと思います。しかし、そこに引っかかってくるのは予算です。予算が多くかかれば難しいし、予算がかからず明日からでも実行できる事であれば、すぐに取り組んでいきたいと思います。予算がかかれば秋頃要求をして、次年度からとなります。また人も限られておりますので、その辺りを踏まえ審議いただければと思います。</p>
会長	<p>そういうことであれば、今までの議論の中でお金がかかりかからないで出来る市民の言葉があったと思います。議決まではいかなくとも、前回出た意見はやるやらないは別にして報告していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりです。計画の策定がない時は1年に1回しか開催しておりません。ごみの排出量を報告して、市の取組に対して肯定・否定意見を聞いて終わりという形だったと思います。今、言われたとおり計画についてまた、その取組についての意見を次回報告させていただけたらと思います。</p>
会長	<p>議事録はいつ頃配布されますか。</p>
事務局	<p>1か月以内にはと考えております。</p>
会長	<p>議事録の中にでも実施が可能か不可能かは別として、委員からでた意見をリストアップされて、できないような意見もたくさん出るとは思いますが、こういう理由でできない、実施したとわかるような経緯がわかる一覧を配布したり、議事録を見てこういう意見もあったのではないかとという意見もすくいあげて報告していただければと思うのですが。</p>
委員	<p>時間をとって申し訳なかったですが、やはり意見を言って終わりではなく、反映をしていただけたらと思います。</p> <p>それと生ごみ実証事業の報告ですが、1年前に市報に載せると言われておりますが、まだ出ておりません。</p>
会長	<p>1年前の議事録を見ないかと回答しかねますので、事務局の方から個別に報告をしていただいて、それでもここで議論すべき内容であればまた報告していただければと思います。</p> <p>先程言われた、バイオガス発電に関してはエネルギー関連の話でこちらで議論すべきではないということですか。</p>
事務局	<p>率直に言えばそうなります。エネルギーの方は同じ市民環境部の環境政策課が担当で行っております。生ごみの活用ということで、ごみの減量にはつながりますが、この審議会で議論すべきか、前回の審議会では簡単ではありますが報告だけはさせてい</p>

	いただきました。
会長	バイオガス発電の件は前にも議論しましたが、結局この基本計画案の目標を達成するための家庭系・事業系ごみの唯一の希望という位置付けと思います。そうであれば最初から実現可能性を計算して欲しいというのは以前申し上げたと思います。
事務局	この事業に関しては市の政策の1つとして動いておりますので、この審議会でお伺いをたててどういう風にしましょうか、というのではなく、実証プラントによってループの構築を考えていき、まずは事業系ごみを対象に進めていこうと計画しております。
委員	P36の図に最終的には17,300t減らすとありますが、家での出し方を見ていて水切り等行ってもこの数値になるか疑問です。リサイクルを進めても難しいと思います。自治会でのごみの出し方を長年見ておりますが、どういう品目を減らして取り組むのだろうかと思っております。
会長	P36の図に関してですが、これは非常に厳しい目標でありまして、なんとかがんばって緑色の1人1日当たりごみ排出量を991gにもっていき、それにプラスして先程申しましたバイオガスなど新たな取組がないと青色の840gを達成できないという考えです。よって現状ではバイオガスが唯一の希望となっております。
委員	岩国と日田のバイオマス発電に行ったことがあります。そこは輸送コストが大変安価でできるため成功していると思います。色々検討し、結果的にマイナスにならないようにしていただきたいと思います。
会長	貴重なご指摘であり、懸念はぬぐえないところではありますが、これはもうやると決めたのだからよく考えてやり遂げていただかないと達成できないと思います。
事務局	<p>会長も常々言われております、目標の数値自体がどうなのかという部分で非常に厳しい数値であると我々も認識しております。しかしながら全国を見ても宇部市と同様の数値から何年かけて800g台まで下げている市町もあります。会長からの要望もありましてP41「先進事例の情報収集」という項目を掲げております。こういったものをしっかり取り入れて取り組んでいける内容はどんどん取り組んでいこうと思います。</p> <p>また、施設の更新について10数年先の話になりますが、次に建てる時は現在の3分の2、2分の1の大きさにしたいと思っております。そういう方向に向けるためにも着実にごみを減らしていき市民の皆様の意識も徐々に浸透させていけたらと思います。</p>
委員	<p>質問が5点あります。まず、計画策定の進め方ですが、前回の会から期間が空いていますが、前言った意見の対応がわからないというのは問題があります。私は色々な計画策定に参加させてもらっていますが、前言った意見に対し事務局がどう判断して変えたか変えなかったか対応表のようなものが配られます。そうでないと議論が重複してしまいます。今回で最後とは思いますが、次回策定の際は対応表を作成された方が良いでしょう。</p> <p>次に計画の内容についてですが、会長も言われていましたが、そもそも減量の必要性がこのままではわからないと思います。というのは全国の平均より高いから減らすとリサイクル量が減っているからリサイクルした方が良いでしょう。必要性の理由にはならないので、どうして減らす必要があるのか伝わる何か根拠が見当たらなかった</p>

	<p>ので検討していただければと思います。</p> <p>次に、P32の『課題』「ごみ量の増加の要因は直接搬入の燃やせるごみの増加である」と記載されているのに、つまり、事業所でのごみの減量化が必要と言っているのに、市民に対する働きかけと比較して、事業者に対する具体的な政策内容がP43④⑤だけでとても少ないと思います。公共交通の利用促進でも市民と事業所あわせて取り組んでいくことが重要視されており、色々な施策があります。もう少し中小の事業者が取り組みやすい施策を整理し、提供して計画に盛り込んだほうが良いと思います。</p> <p>次に、市民と事業者が自主的に取り組む事もとても重要と思いますが、この計画を読もうという気になれないと思います。だからパブリックコメントも0件だったと思います。読まないで危機感を持たないですし、意識も醸成されませんので、計画そのものを市民の方が読むのは難しいかもしれないですが、せめて簡易版を作成して、こういう計画があるということをも市民・事業者に伝える努力をしていくことを政策の中にいれられたと思います。</p> <p>最後に、P47「市民ができるごみを減らす取組のイメージ」を見て、環境心理学では人間は一度にこんなにたくさんの事を言われても理解ができないので、最初に認識してやろうと思うのは、だいたい3つ位と言われています。また、それぞれの項目の重要度がわかりません。これに取り組んだらどれ位の効果があるのか、やり易いのか、例えば、しっかり生ごみの水切りをすると1人1日当たり何gごみが減らせますとか効果を数字で提示していく方が説得力があるのではないかと思います。効果の大小がわからないので、取組を見てこれとこれをやってるからもういいやと思ってしまいます。市民の取組みややすさを検討して改善していただければと思います。</p>
会長	<p>簡易版は必要だと思いますので、是非お願いします。他の意見についてもごもっともだと思います。今までの議論の中でも出ていたと思いますので、流すことなくまとめていただければと思います。</p>
事務局	<p>市民向けに発信するという事ですが、出前講座や分別説明会では1世帯60g減らせば、年間1,800万円削減され、収集車何台分に相当しますよなど、周知はしております。審議会では資料しか配布しておりませんが、市民向けに行っている内容を皆様にもお知らせしたいと思います。計画修正については、すべて網羅できるか限界はあるかもしれませんが、最終的に市民・事業者へ発信する時は、効果も含め心がけているつもりですが、御意見等いただきながら改善していきたいと思っています。簡易版については概要版ということで、前回資料として配布したようなものが存在しますので、そちらを活用していこうと思います。</p>
委員	<p>この審議会は各地域やいろんな立場の方が来られ、その自分の立場としてどうするかという意見を聞く審議会だと思います。それに対してあまりに膨大な量の資料で意見を言うことはなかなか難しいと思います。年に1、2回しかない審議会なので大事な項目をA/Bに分けて、事業者からみたA/Bはどうか、市民からみたA/Bはどうかという審議をしていった方が良いのかと思います。大事な事は今日出された議題に対して、自分の立場でどちらが良いか1人1人聞いていただいて、私の立場はAです、Bです、というようにみなさんで合意していかないと、改善がないままの会になってしまいます。平成33年にバイオガスを使って840gにすると言われていますが、3Rを更に推</p>

	進するとかは、もう何年もやってきてます。環境衛生連合会も色々な事をやっておりますがこれ以上はまず無理です。無理な事を実現するには各団体・個人の意見でこうしたら出来るとか審議し、極端な事を言いますとごみ袋1枚 100円払うとか、分別してない事業系ごみは取らないとか極端な事をしないと目標は達成できないと思います。我々で意見を言っていないと、市では無理があります。予算も0円でないと取組んでもらえないです。はたして平成33年までに事業者としては、市民としては減量できるのかどうか聞きたいです。
会長	結局、今、達成困難でどうしようというのが、1人1日当たりのごみ排出量を991g、更に840gまで減らせるのかどうかだと思います。減らす対策を家庭系として、事業系として何が出来るのかという事をお聞きしたいと思いますが、今回の審議会は例年だとこの1年間の報告で議論はできないと思いますが、次回には目標設定の数値が可能な数字なのかはつきりさせたいと思ってまして、だからと言って目標を変えることはできませんが、がんばれるところはがんばって、無理なことをしているのではないか、はつきりさせないといけないし、減らせるならどの部分かもはつきりさせて闇雲に終わらないようにしたいと思います。次回は宇部市の報告だけでなく、先進地域の情報を持ってきていただくようお願いしています。岩国や周南はごみ量が少ないので、どういうメカニズムで達成できているのか聞いた上で、宇部市と比べどの部分が負けているのか見ないといけないと思います。次回以降、その資料を基にできるか、できないのか皆様に意見を聞いた方が良いのかと思います。まだ発言されてない方もいらっしゃると思いますし、委員も改選されましたので、何か発言していただければと思います。
副会長	計画について、意識啓発という部分が多く、これは長い時間をかけて上がったたり下がったり維持したりというカーブを描くので、やはり階段状に落ちる方策が必要だと思います。事業系のごみが増えているということでしたが、以前、事業系ごみが増えて手数料改定を行ったら量がかなり落ちました。また徐々に上がってきているので今の現状で手数料が適正かどうかの検討も必要かと思います。
委員	何年も前の話ですが、知り合いのレストラン経営の方が大量に生ごみが出て、沖縄の大学の先生を取組を取り入れ、生ごみで堆肥を作り畑に使用するという事をされていました。手はかかりますが少しずつでも実行していけば、大量に排出される方は良いのではないかと思います。家庭でも少しでも生ごみを出さないように工夫して料理をするように心がけております。
委員	審議会の存在意義、役割というものが私もよくわからなかったですが、私の考えでは色々な立場の方がいらっしゃるので、柔軟に意見を言っていて、市の方で意見を拾ってくれて柔軟にやっていただければと思います。審議会対市役所はどうかと思うので、良い雰囲気でも議論できたらと思います。私は収集運搬業者なので、店舗の方から意見をいただければ、まだまだ減量の可能性があるとか、そういう話も聞けます。市民からの目、事業所からの目を聞きながら、できそうだということであれば取組んでいただいて良い方に反映されましたよという結果報告ができれば良いなと思います。
委員	私も収集運搬業をしております。今、指定ごみ袋はごみ袋代のみで処分料を含めて

	<p>ないので、1枚 100 円などすれば随分と減ってくるのではないかと思います。ただ、有料になると主婦感覚だと、大根 1 本買って、葉の部分を持ち帰るとごみの量が増えるので、店で葉の部分を切って置いて帰ると事業所ごみになり、事業系ごみが増えるという事になります。やはり市民・事業者両方のごみを減らすことが課題だと思います。ごみ袋の有料化は他市での状況も聞いておりますので、効果はあると思います。有料化についてはどのような考えだったのでしょうか。</p>
会長	<p>有料化については以前取りかかろうとしていましたが、バイオガスの関係で生ごみを集めないといけないということで、先送りになりました。必ずしも一緒になくてもいいのかもしれないですが、市の方で考えていただけたらと思います。</p>
委員	<p>審議会に関しては、私も意見が反映されてないなと思っていました。2年間黙って座っておりましたが、意味のないような感じでした。主婦はお金と密着するとかなりがんばると思います。数年前、プラごみが汚いので業者が引き取らず、市で処理するには 2 億円かかりますよという事で各校区で市役所の方がきれいに出すように説明会をされていました。それが約 1 年間できれいになり業者も引き取ってくれるようになりました。何故かという主婦には 2 億円が効いております。きれいに洗って出し、汚れがとれない物は燃やせるごみに入れるようになりました。私は絶対無理と思っていましたが、1年でそれができました。</p> <p>また、焼却場で灯油を使うということを御存じの方が少ないです。どうやって燃やしているのかな、で終わっています。灯油を使うのにどれだけお金が必要か市民に周知しないといけないのかなと思います。</p> <p>先程、ごみ袋の話が出ましたが、宇部市はかなり安いです。東京では 1 枚 100 円以上します。びっくりしましたが、この会で聞いていた事もあり、処理するにはお金が非常にかかると思いましたが、ごみの量を減らすという数量をいうのではなく、ごみを処理するのにこれだけかかるという周知をされた方がよいと思います。また、水切りや 3 R については回覧で見ますが、回覧は見られない方が多いです。やはり各家庭に配った方がよいのではないかと思います。</p>
委員	<p>計画の目標を見ますと、現在の約 4 分の 1 を減らさなければいけません。学校では各クラスに燃やせるごみ・プラごみ・燃やせないごみと 3 つ箱があります。行事の時はなるべくごみを出さないように指導しております。この現状から減らすというのはかなり難しいと思います。学校で増えているごみを考えますと、アンケートなどに使う紙ごみだと思います。毎週、全児童に調査などをしますが、再利用もできませんので、ごみとして捨てており、逆にごみが増えているのではないかと思います。これからどういう方法でごみを減らせるか悩みますが考えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>10 数年前に環境問題の勉強会が市役所でありまして、その時にバイオマスの話がありました。もう進んでいるのではないかと期待をして今日参りましたが、進んでなかったので残念に思います。私の家では生ごみは出しません。畑に穴を掘り生ごみと EM 菌をいれて畑を作っております。バイオガスの話になれば、燃やせるごみの中で汚れたプラごみなどと野菜ごみを分別すればバイオの方に使えると思います。それにより焼却場での灯油の削減効果がどうなるのか不明ですが。</p> <p>また、エコクッキング教室を開催されていますが、会場が保健センターだけでは遠</p>

	<p>い方は大変と思いますので、各校区で取組んでいけばもっと効果があると思います。親子の料理教室も良いと思います。次回のエコクッキングのメニューは大根丸ごと使い、捨てる所はありませんよ、という内容なので、もっと、市全体で取組んでいく教室を開催すれば良いと思います。</p> <p>それと、リサイクルプラザの活動状況ですが、今、夏休みに1回だけ「紙すき体験」を行っております。以前はもっと開催しており、廃油から石鹼も作っておりました。ずっと石鹼は作っていませんでしたが、講師の方が子どもの勉強になるので是非開催して欲しいということで、昨年開催しました。ただ、廃油がリサイクルの方に回っていてなかなか手に入らず、自分達の家庭やスーパーにお願いしていただきました。やはりリサイクルプラザで環境教育としての勉強の場を提供していただきたいと思います。</p>
委員	<p>今回は 17,300 t を減量するために、委員の方でも何かアイデアはないか、あれば持ち込んだら良いと思います。私の自治会は廃品回収で古紙類を回収しており、子ども会もあります。年間 20 万円位回収業者からいただいており、市からも 20 万円いただいており合計 40 万円で活動しております。自治会で約 640 世帯ありますが、3 分の 1 程度の回収量だと思います。他は、店舗などに出されていると思います。もっとリサイクルを徹底すればごみ減量に繋がると思います。地域がまとまるような方策で市が後押しすれば、生ごみの中の新聞・チラシが減ってくると思います。私達の方で何かアイデアを持ち寄って、市へ提供できるようになれば良いのではないかと思います。</p>
会長	<p>今日はたくさんのご提案をいただいたと思います。委員一人一人の方がこれだけの考えをお持ちで、ここに集まっておられるというのは利用しない手はないと思います。諮問答申は必要な部分と思いますが、それ以外にアイデアを出していただける場ということで、せめてここで出た意見を今後は実行していきましょう。</p>
事務局	<p>前回、委員からすぐできる事として、ごみステーションを見たら、いかに分別が悪いかわかるだろうという事でしたので、2月1日から月水金の燃やせるごみの日に大きなステーションからですが、職員が現地に行き、出しに来られる方へチラシの配布とあわせ、水切り・分別のお願いをし、ステーションの確認もしております。どこにポイントをおいて施策を展開していくか見極めながら取組んでいけたらと思います。以前ご指摘がありましたので、地道に進めております。報告が遅くなりました。</p>
会長	<p>そのように実行されていることを、会の最初にフィードバックされてたら良かったのかなと思います。この場だけではなく、市民にもここ発でこういう事をしているとか周知していただきたい。以前にも同じような話は出てたと思います。それが実行されているのか、されていないのかわからない状態でした。</p>
委員	<p>先程言われた、プラごみの時の 2 億円ですが、税金 2 億円使うということで、当時、必死だったと思います。同じようにごみを処理するのに 18 億円使っています。1 人当たりいくら使っています。どうしますかと何度も周知しないと。例えば環境衛生連合会の戸別配布の最終ページを使っても良いし、回覧がだめなら市広報にインパクトのある表現で市民がハッと驚くように掲載したら良いと思います。以前も申しましたが、レジ袋がなかなか有料化にならず、わずか 5 円でも取ることになって、今は 100% 近くまでみなさんマイバックを持って行かれます。わずか数円で市民の感覚があれだ</p>

	<p>け変わりますから 18 億円はかなりインパクトがあると思います。お金はかからないと思いますので、次回是非、良い報告が聞けたらうれしいです。</p>
委員	<p>先程回覧版は見ないという話でしたが、私もそう思います。各家庭に配布となると費用はかかるとは思います、大事なこと、協力して欲しいという時はそうしないといけないと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。今日はこれで終わりにしたいと思います。ただ、今日出た意見については、まとめていただき、次回報告していただけるようよろしくお願いいたします。今回は議論がついておりませんが、その他事務局の方で何かございますか。</p>
事務局	<p>最後になりますが、計画（案）ですが、簡易版については作成し公表する予定としています。今回出た計画の意見等につきましては、今後、こちらの方で調整・修正してこうと思います。</p> <p>次回、平成 28 年度の審議会ですが、例年 7 月頃を予定としております。ごみの処理状況や施策の進捗状況を見ていただき、今後どうしたら良いかアイデア等いただけたらと思います。それからバイオガス発電事業を行う中で、今後審議事項が出てくる可能性もありますので、審議会としては来年度 3 回程度開催できる準備をしております。以上でございます。今後ともよろしくお願いいたします。</p>